

学校での麻疹対策で気づいた点

- ・ 母子手帳等で、予防接種歴、罹患歴の確認を求める。
- ・ 記憶は不確か、麻疹にかかったと思いこんでいたが、麻疹ではなかった。
- ・ 入学時、就職時、転入時の確認と、この時点で、未接種未罹患者への接種勧奨を実施しておく。
- ・ 年長者ほど、予防接種を受けましょう！というお知らせだけでは、なかなか接種行動に結びつかない。その後受けたかどうかの確認が必要。
- ・ 発症してしまった人には、十分な配慮が必要。
- ・ 修学旅行前の対応：麻疹elimination(排除)が達成された国など
- ・ 教育実習前の対応：麻疹感受性者の多い集団への実習など

麻疹による学校閉鎖で気づいた点

- ・ 毎朝検温は学校閉鎖の時期にも忘れないように
 - － 37.5℃以上であった場合は、医療機関等への受診以外はできるだけ外出しない。
 - － 発熱、咳、鼻水、咽頭痛などの症状が続く場合は、医療機関に麻疹かもしれないと連絡してから受診する。
- ・ 麻疹あるいは麻疹疑いと診断された場合は、学校に連絡する
- ・ 人が多く集まるところに出かけないように、注意が必要
- ・ 麻疹を発症した場合、自宅で一人で休んでいることがないように、注意が必要